



これまでの取り組みとこれから
 これまではメタボリックシンドロームに主眼を置いた特定健診・特定保健指導に取り組んできました。
 これからは、重症化予防対象者を明確にして、要精密検査者が確実に医療機関を受診し、治療につなげていけるよう取り組みます。

データの分析から
 メタボリックシンドロームと糖尿病は、次の問題を念頭に取り組みます。
 ①薬物療法だけでは改善が難しい食事療法と併用して、栄養指導等の保健指導を行う。
 ②生活習慣病は自覚症状がない。いま以上の特定健診受診の勧奨。

分析から見える健康課題
 レセプトデータ等の分析から、生活習慣病3疾患（虚血性心疾患・脳血管疾患・糖尿病性腎症）は件数・医療費ともに高くなっています。
 特に、医療費が高額で死亡率が高く、健康寿命に多大な影響を与える脳血管の重症化予防を最優先課題としました。

では、課題解決への取り組みと目標は？
香美市国保の健康課題は見えてきた。

中長期的な目標
 高齢化による有病者数の増加から、医療費そのものを減らしていくことは難しいと考えられます。そのため本計画では、次のことを中長期的な目標とします。
 ①医療費の伸びを抑える
 ②入院者数の増加を抑える
 ③80万円以上の高額レセプトの脳血管疾患件数を抑える

短期的な目標
 虚血性心疾患・脳血管疾患・糖尿病性腎症の血管変化における共通のリスクとなる高血圧・脂質異常症・糖尿病・メタボリックシンドロームを減らしていきます。
 ①必要な人に、適切な受診・治療継続のための働きかけを行う
 ②継続的な治療が必要なのに、受診を中断している方に対し、適切な保健指導を行う

5つの具体的な目標を目指し、さまざまな取り組みを進めていきます。

- 特定健診受診率を向上させよう！**
 - ◆取り組み内容 訪問・電話などで特定健診の受診を勧めます。
 - ◆目標 (H26 ⇒ H29) 受診率 43.5% ⇒ 60%
- 特定健診の継続受診の大切さを伝えよう！**
 - ◆取り組み内容 健診結果説明会で、結果の説明や食事・運動についてのアドバイスを交えながら、将来にわたっての健康維持を考えます。
 - ◆目標 (H26 ⇒ H29) 説明会参加者数 102人 ⇒ 130人

- 生活と健康の質を上げよう！**
 - ◆取り組み内容 健診結果や健康に関するさまざまな健康相談を行います。
 - ◆目標 (H26 ⇒ H29) 相談件数 53件 ⇒ 70件
- 健康的な生活を送ろう！**
 - ◆取り組み内容 健康や生活習慣の知識を広めるため、健康講座を開催します。
 - ◆目標 (H26 ⇒ H29) 健康講座参加者数 133人 ⇒ 180人

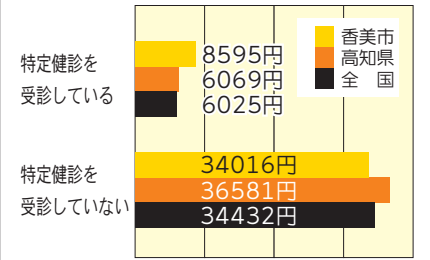
- 適切な治療で重症化予防！**
 - ◆取り組み内容 特定健診結果で医療機関の受診が必要な方に、訪問・電話等により働きかけます。
 - ◆目標 (H26 ⇒ H29) 対象者医療機関受診率 41% ⇒ 70%



特定健診を受診することで医療費に大きな差が

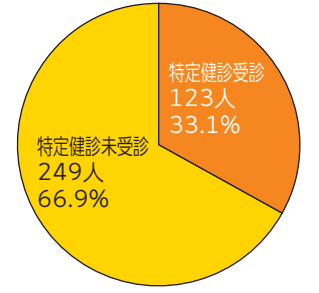
特定健診の有無による生活習慣病1人当たりの医療費

特定健診を受診しているか否かで、医療費に歴然とした差が表れている。



生活習慣病の入院患者における特定健診受診歴

特定健診の受診が、生活習慣病の重症化予防につながるも期待できる。



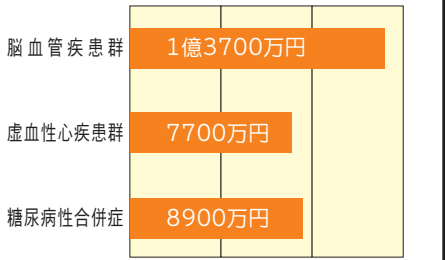
自覚症状が少ない生活習慣病を予防するためには、特定健診を受診して自らの生活習慣を見つめ直すことが大切だということが分かります。



生活習慣病3疾患の中で特に医療費が高額だったのは

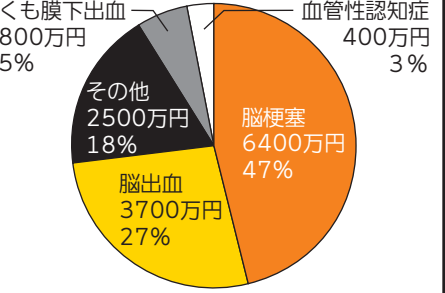
生活習慣病の重症化疾患における香美市の医療費

脳血管疾患にかかる医療費が他に比べて飛び抜けて高い。



脳血管疾患群の医療費内訳

特に脳血管疾患群の医療費内訳について調べると、脳梗塞、次いで脳出血の占める割合が高い。



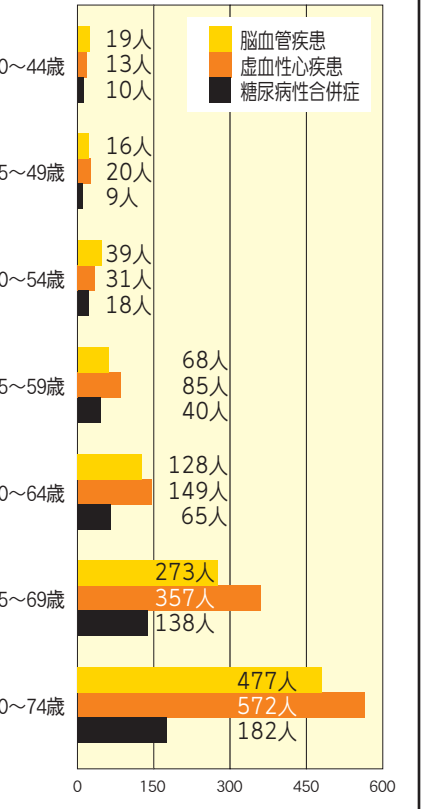
脳血管疾患の重症化を予防することが差し迫った課題。医療費が高額で死亡率も高く、要介護の最大の原因疾患でもあります。



生活習慣病の重症化疾患が増加してくる年代は

生活習慣病の重症化疾患における香美市の患者数

加齢に伴い増加傾向にあり、50歳代を境に急激に増加する。



日頃の生活習慣の積み重ねが年齢を重ねるごとに表れてくるようです。食生活や適度な運動など、健康に直結する生活習慣を見直しましょう。



※グラフのデータは平成26年度のものです。